

環 境 報 告 書

令和 6 年 8 月報告

事業所名	鍋林建工株式会社			認定 ランク	☆ ・ ☆☆ ・ ☆☆☆
概 要	所 在 地	松本市島内 3501-1			
	代 表 者	倉 科 明			
	概要 (従業員数・事業内容等)	建設業（一般住宅設計施工、公共工事、防水工事、左官工事、鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事） ・ 従業員 28 人			
	担 当 者	所属	本社	名前	山田 知史
	連 絡 先	電話	0263-48-3501	FAX	0263-48-3502

○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	1.環境マネジメントを理解し、PDCA サイクルにより継続的改善を行う。 2.環境関連法規を遵守する。 3.環境負荷軽減。 ①二酸化炭素排出量の削減 ②化学物質の低減とグリーン調達の推進 ③廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用の推進 ④省エネでエコな建築工法の推進 4.SDG s の取組みと合わせた相乗的な活動をしていく
環境に関する取組み目標	二酸化炭素排出量削減 電力、ガソリン、灯油使用量削減 廃棄物排出量削減 総排水量削減 省エネ住宅施工件数増加 OA用紙使用量削減 グリーン購入数（水溶性塗料）増加 社会貢献活動（清掃活動等）実施

具体的な取組み内容	電力使用量削減 ・ エアコンの温度設定（事務所冷房 28℃、暖房 20℃） ・ O A 機器の効率化使用、P C 電源 O F F ・ 昼休みの 60 分間消灯 ガソリン使用量削減 ・ アイドリングストップ（エコドライブ 10 の実施） ・ 積載オーバー、不要な荷物は積まない ・ 月報距離、給油量を記録する 灯油使用量削減 ・ 暖房温度管理 20℃ ・ 時間外事務所使用の短縮 廃棄物排出量削減 ・ 3 S 活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進 ・ 分別徹底とリサイクル（特に古紙、缶ビン） ・ 両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・ 社内文書の電子化 総排水量削減 ・ 水道水出し過ぎ注意、止水確認 ・ 洗い物はまとめて洗う グリーン商品の購入推進 ・ グリーン商品を優先して使用する ・ 従業員に周知する O A 用紙使用量削減 ・ コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底 ・ 会議のプロジェクター利用、電子媒体の利用 省エネ関連工事の受注 ・ エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動 ・ グループ会社の会報を通じて PR する 社会貢献活動 ・ 鍋林グループ全体で行う事業所周辺清掃活動 ・ 所属団体が主催する地域貢献活動に参加。
------------------	---

実施結果（成果）	2023 年度実績（全社） 二酸化炭素排出量削減：2022 年度立案目標 → 86.4%：未達成 ガソリン使用量削減：同上 → 101.5%：達成 廃棄物排出量削減：同上 → 95.0%：未達成 水使用量削減：同上 → 114.3%；達成 OA用紙使用量削減：同上 → 94.5%：未達成 省エネ住宅の受注：同上 → 7 件超過 153.8%：達成 グリーン購入：同上 → 5 件のみ 33.3%：未達成 社会貢献活動：同上 → 15 件のみ 93.8%：未達成
課題・問題点と その改善に向けて	全社の実績：二酸化炭素排出削減に関わる項目ではガソリン使用料目標を達成できた。その他目標達成できた項目は水使用量削減、省エネ関連工事促進である。実績全体では未達成が多かった。2024 年度は 2023 年実績をベースに 1.36%の削減を目標値として、活動していきたい。昨年グリーン購入が振るわなかったなので、注力していきたい。また地域に貢献できる活動を増やしていきたい。昨年目標達成した項目は本年も確実に達成できるよう進めていきたい。
その他、 アピールポイント等	昨年末より、本社にて産廃の電子マニフェストを導入した。各拠点へも拡大していくよう進めていく。